「陵墓限定公開」40周年記念シンポジウム

文化財としての「陵墓」と世界遺産

2019年12月22日（日） 10:30〜16:30　大阪歴史博物館 講堂

参加方法 事前申込不要　当日先着250名　10時より受付開始　**参加費用** 資料代1000円

「陵墓」関係16学・協会は、「陵墓」を文化財と位置づける学術的な立場から、「陵墓」の公開をすすめ、今年で公開運動40周年の節目を迎えました。本シンポジウムでは1979年の「陵墓」の限定公開開始を画期とした運動を振り返るとともに、2019年7月に「仁徳天皇陵古墳」として世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群の有力な構成資産である大山古墳（宮内庁の百舌鳥耳原中陵）に、学術的検討を加えたいとおもいます。そのうえで、今後、「陵墓」の公開はどのようにあるべきか、保存・活用はいかにあるべきかを幅広く議論したいと考えます。「陵墓」に限らず、日本の歴史や文化財の保存・公開・活用に関心をお持ちの方々のご参加をお待ちします。またWeb上に事前に寄せられた意見も議論に反映させたいと考えております。下記QRコードのフォームから、様々なご意見を是非お寄せください。

「陵墓限定公開」40周年記念シンポジウム事前アンケート
https://forms.gle/cRw5e6g5cjpHEGhv5

大阪歴史博物館
〒540-0008　大阪市中央区大手前4丁目1-32
TEL:06-6946-5728　FAX:06-6946-2662
地下鉄 谷町線・中央線「谷町四丁目駅」２号・９号出口
シティバス「馬場町」バス停前

挨拶	10:30
宮川 徏	
基調講演	10:40〜11:30
今尾 文昭	「陵墓限定公開」の40年と現状から
報告	11:30〜12:00
石部 正志	「陵墓」公開運動の経験
休憩	12:00〜13:00
報告	13:00〜15:00
岸本 直文	大山古墳は「允恭」（倭王済）墓である
滝沢 誠	副葬品からみた大山古墳
中久保 辰夫	世界の墳墓と世界遺産
新納 泉	調査手法の進展と「陵墓」情報の充実
高木 博志	近代天皇制と「陵墓」
ディスカッション	「陵墓」公開の今後　15:00〜16:30

文化財としての「陵墓」と世界遺産
司会：福島 幸宏　今尾・岸本・滝沢・中久保・新納・高木

挨拶	16:30
滝沢 誠	

主催　「陵墓限定公開」40周年記念シンポジウム実行委員会
お問合せ　日本考古学協会事務局気付 〒132-0035　東京都江戸川区平井5-15-5(有)平井駅前協同ビル4階　http://archaeology.jp/contact_form/